令和6年度

上富良野町の

知っておきたいことしのしごと

町民のみなさんから
納めていただいた税金の使い道など
分かりやすくご説明します。

はじめに

町民の皆様には、日ごろより町政に対しご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

また、町民の皆様から賜っております、町政に対する諸活動にも、深く敬意を表します。

本年度につきましては、6年目を迎えた第6次上富良野町総合計画に掲げた将来像「暮らし輝き　交流あふれる　四季彩のまち･かみふらの」の実現に向けて、6つの分野目標に沿った施策項目をしっかりと前へ進めていくとともに、私が理念としている「活力あるまちづくり　魅力あるまちづくり　持続可能なまちづくり」を念頭に、これからの財政状況を見据えた中で、それぞれの事業実施において緊急性や優先性などを十分考慮しながら予算編成を行いました。

郷土の発展はすべての町民の共有の願いであり課題を克服し、次の世代へしっかりと繋いでいけるよう、責任あるまちづくりを実践していくとともに、何よりもすべての町民が一体となった「協働活動」を通じて、ともに支え合い、ともに歩む1年となるよう最大限の努力を続けてまいります。

この「知っておきたいことしのしごと」は、予算書の概要版として様々な事業を皆様にわかりやすく説明することで、皆様との相互理解をより一層深め、より良いまちづくりを進めるために作成しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

最後に、本年度も町政へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年4月

上富良野町長　斉　藤　　繁

Q そもそも、予算って何ですか？

A 予算とは、１年間の収入と支出を見積もることです。

新しい年度が始まる前に、１年間（４月から翌年３月まで）にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにしてどのような行政サービスを行うかを計画し、その費用を見積もります。

Q 予算はどうやって決まるのですか？

A 町長がつくった予算案が町議会の審議と議決によって予算として成立します。

町の担当部署が、町民の皆様からの意見や要望を聴き、１ 年間の行政サービスを検討します。町長は、各担当部署の案を自分の考えに沿って予算案としてまとめ、町議会へ提出します。

町民を代表する町議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議したうえで、町議会の議決により予算を決めます。

Q 予定外のお金が必要になったときは？

A 予定外の支出に必要な予算を補正予算として見積り、町議会へ提出します。

自然災害などの影響で、当初の見積もりでは想定していなかった経費が必要となった場合には、それに対応するための予算案をつくり、町議会へ提出します。

ポイント

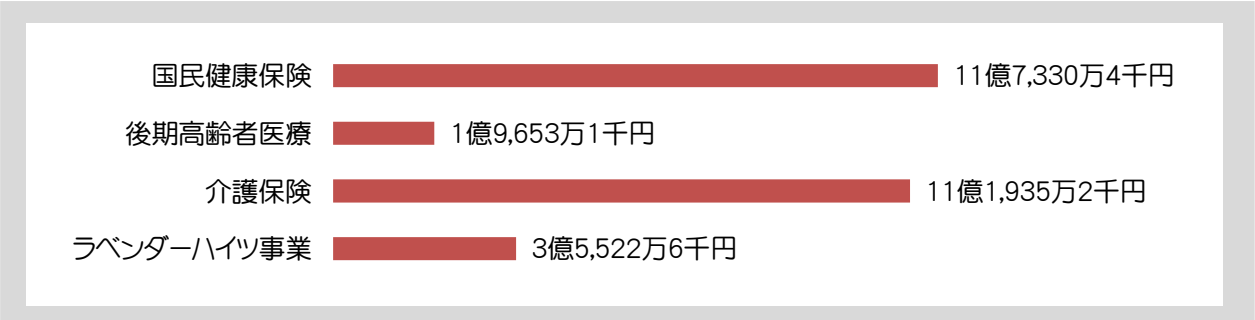
・収入のことを「歳入」、支出のことを「歳出」といいます。

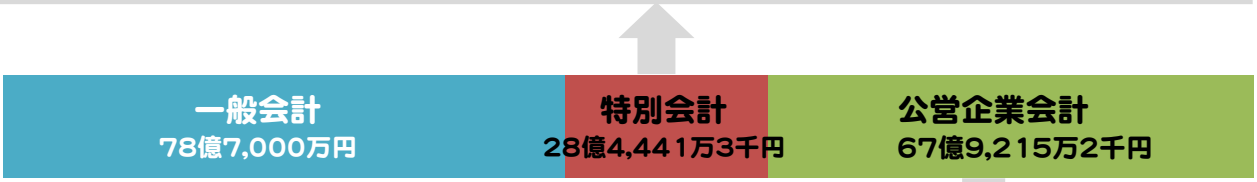
・最初に決める １ 年間の予算を「当初予算」、年度の途中で予定外の支出に対応した予算を「補正予算」といいます。

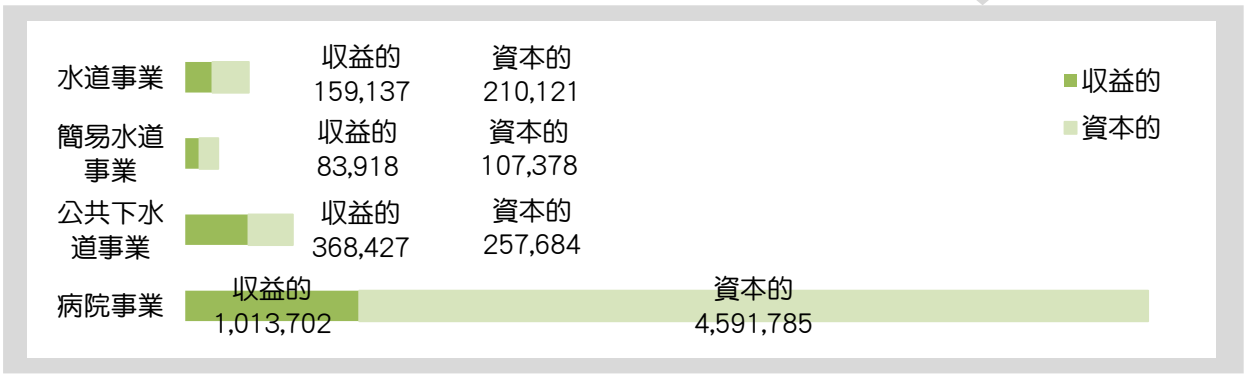
Q　令和６年度の上富良野町の予算は？

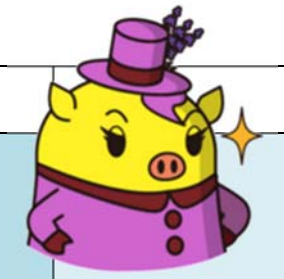
A　一般会計、特別会計、公営企業会計のすべての会計を合わせると、175 億 656 万 5 千円になります。

一般会計 78 億 7,000 万円 （前年度　76 億 8,200 万円）	福祉、教育、道路整備などを進める基本的な行政サービスを行うための会計です。
特別会計 28 億 4,441 万 3 千円 （前年度　32 億8, 685万円）	特定の目的のための会計で、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、ラベンダーハイツ事業特別会計の 4 つの特別会計があります。
公営企業会計 67 億 9,215 万 2 千円 （前年度　23 億 4,984 万 2 千円）	自治体が運営する企業の会計です。水道事業会計、簡易水道事業会計、公共下水道事業会計、病院事業会計の4つの公営企業会計があります。 ※簡易水道事業会計、公共下水道事業会計は令和6年度から特別会計から企業会計へ移行しています。





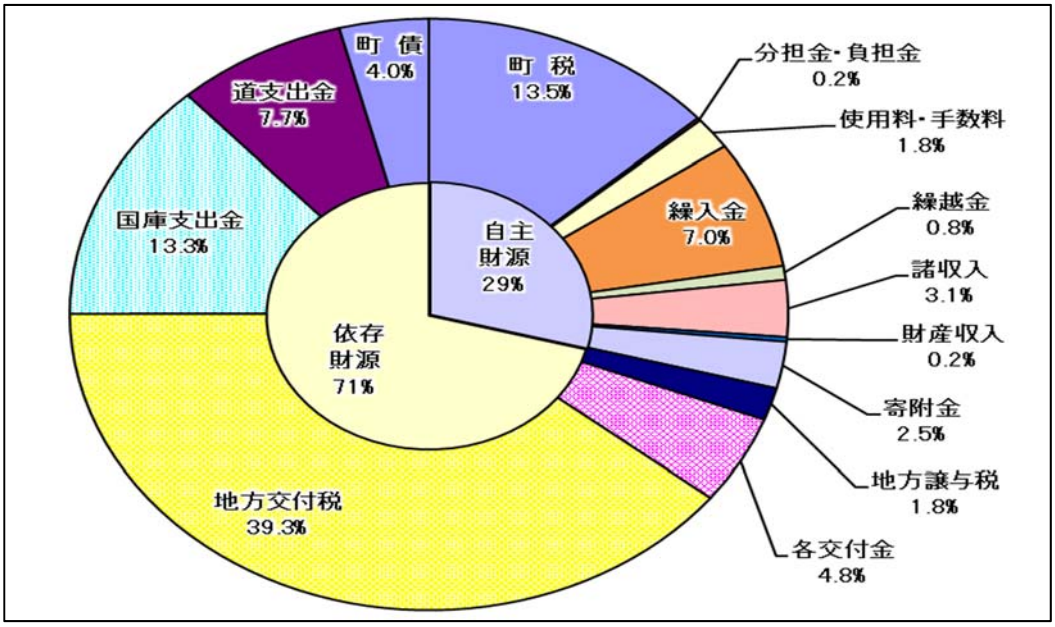




会計名称		予算概要
一般会計		**予算額は、前年対比 2.4%の増加となりました。** **これは、新こどもセンター外構工事、東児童館の解体工事、町立病院建設に係る出資金が増加したことが主な要因です。** **◆歳入の特徴** 自主財源である町税は、10 億 5,979 万 2 千円と前年度より 855 万 4 千円の増加を見込んでいます。これは固定資産税の増加が主な要因です。 また、実質的な地方交付税（臨時財政対策債の発行額を含めたもの）は国の地方財政計画の内容を勘案し、31 億 280 万円と前年度よりで 1,220 万円の減少を見込んでいます。特別交付税は増加が見込まれますが、普通交付税と臨時財政対策債の減少が見込まれることが主な要因です。各種事業を行うための基金繰入金は、5 億 4,920 万 5 千円と前年度より 3 億 9,713 万 5 千円の増加となっています。 **◆歳出の特徴** 将来の財政規律も見据え、中・長期的な視点に立ち、各目的基金の繰入れを行い、将来負担の軽減を図りました。 「協働のまちづくり」「穏やかに安心して暮らせるまちづくり」「人が行き交うまちづくり」の3つの視点を基本に、子ども医療費助成の拡充、新こどもセンターの外構工事、東児童館の解体工事、一般廃棄物最終処分場延命化検討等の計画策定に要する経費、特産農作物支援員の新規採用、演習場周辺農業用施設設置助成などを計上しています。
特別会計	国民健康保険特別会計	主に被保険者の減少等に伴う保険給付費の減額であり、今後におきましても、保険者として北海道とともに、健全で安定的な国保運営を進め、加入者が安心して医療を受けられる体制の維持・確保に努めてまいります。
	後期高齢者医療特別会計	被保険者の増加による保険料負担金が増額となっています。
	介護保険特別会計	高齢者数は減少するものの、高齢化率は増加しています。要介護者の増加に伴い 1 人あたりの介護費用額が増加しており、保険給付費やサービス事業費の増、介護報酬の改定などにより、増額となっています。
	ラベンダーハイツ事業特別会計	一般会計から一定の財政支援を受け、介護人材の確保に努めながら、効率的な運営と経営の安定化を図ります。人件費の上昇、施設修繕費、物価高騰の影響により光熱水費が増額となっています。
公営企業会計	水道事業会計	収益的収支は、国庫補助金の増と一般会計負担金の減により、減額となっています。 資本的収支は、水道施設電気計装更新及び配水管更新により、増額となっています。
	簡易水道事業会計	収益的収支は、給水戸数及び給水量を見込んだ収支としています。 資本的収支は、簡易水道施設の更新事業を進めてまいります。
	公共下水道事業会計	収益的収支は、処理戸数、有収水量を見込んだ収支としています。 下水道施設等の更新工事に伴う実施設計や、下水道管の新設工事、公設桝新設工事を進めてまいります。
	病院事業会計	収益的収支は、医薬品及び設備・施設維持管理経費の増により増額となっています。 資本的収支は、町立病院改築整備に係る建設工事、地中熱設備導入工事の計上などにより増額となっています。

Q 今年度の上富良野町の歳入は？

A 一般会計の歳入には、町税や国・北海道からの支出金、町債などの借入金や施設の使用料などがあります。



【依存財源】	**55 億 8,218 万 7 千円**
地方交付税	30 億 9,300 万円
みなさんが国に納めたお金の一部です。地方自治体の財政状況等に応じて配分されます。	
地方消費税交付金	2 億 7,670 万円
みなさんが国に納めた消費税の一部です。一定の割合に応じて地方自治体に交付されます。	
地方譲与税	1 億 3,950 万円
みなさんが国に納めたお金の一部です。一定の割合に応じて地方自治体に交付されます。	
各種交付金	1 億 370 万 1 千円
自動車税環境性能割交付金や利子割交付金など、みなさんが国や道に納めたお金の一部です。	
国・道支出金	16 億 5,258 万 6 千円
みなさんが国や道に納めたお金の一部が、特定の目的を達成するために地方自治体へ交付されます。	
町債	3 億 1,670 万円
事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です。	

【自主財源】	**22 億 8,781 万 3 千円**
町税	10 億 5,979 万 2 千円
みなさんから上富良野町に納めていただく税金です。	
分担金及び負担金	1,194 万8千円
事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。	
使用料及び手数料	1 億 3,911 万 3 千円
町の施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。	
繰入金	5 億 4,920 万 5 千円
各種基金（町の貯金）を取り崩してお金を使います。	
その他	5 億 2,775 万 5 千円
寄付金、他市町村のごみ処理料負担、光ケーブル貸付料、前年度からの繰越金などです。	

ポイント

・「自主財源」とは、町が自主的に調達できる収入、「依存財源」とは、国や北海道から交付されたり割り当てられたりする財源や町債のことです。「自主財源」の割合が大きいほど財政は安定していると言えます。上富良野町は依存財源が多くを占める脆弱な財政構造です。

Q 国・北海道からのお金は何に使われるのですか？

A 道路や学校など普段みなさんが利用する多くの公共施設の整備などに使われています。また、防衛省からは、関連施設の障害防止のほか、農業施設整備などにも充てられています。

国庫支出金の計	10 億 4,700 万 9 千円
（主な内訳）	単位：千円
障害者自立支援給付費	207,524
教育・保育給付費負担金	214,032
デジタル田園都市国家構想交付金	25,022
子ども・子育て支援交付金	24,592
出産・子育て応援交付金	5,477
農業経営高度化促進	4,069
町営住宅整備	1,492
防衛省関係	370,818
内訳 障害防止事業	220,295
内訳 民生安定事業	124,785
内訳 防音事業関連	2,038
内訳 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業※1	23,700

道支出金の計	6 億 557 万 7 千円
（主な内訳）	単位：千円
障害者自立支援給付費	103,762
教育・保育給付費負担金	111,883
北海道子ども・子育て支援交付金	17,962
出産・子育て応援交付金	1,571
中山間地域等直接支払交付金	68,304
環境保全型農業直接支援対策事業	20,460
多面的機能支払交付金	85,604

※1【特定防衛施設周辺整備調整交付金充当予定額】
・町道改良舗装　19,300 千円
・市街地消火栓更新　4,400 千円

上富良野町の収入（歳入）を月収 30 万円の家計簿に例えてみると…

収入の項目	金額（円） 令和 6 年度	令和 5 年度
給与（町税）	40,399	41,053
パート収入（分担金・負担金、使用料・手数料、その他）	14,155	18,659
預金の取崩し（繰入金）	20,935	5,939
親からの仕送り（国・道支出金、地方交付税、交付金等）	212,439	220,419
銀行からの借入（町債）	12,072	13,930
計	300,000	300,000

=家計簿の特徴=

給与(町税)が 4 万 399 円と、まだまだ親からの仕送り(国・道支出金など)に頼った家計状況です。また、継続する物価高騰により、預金の取崩し(繰入金)や銀行からの借入(町債)も主な収入源となっています。

今後は、物価高騰により預金の取り崩しが大きくなってきていることから、給与やパート収入が増えるように努め、計画的な銀行借り入れや預金取り崩しを行うなど、収入に見合った家計のやりくりや工夫が引き続き必要となっています。

Q どんな目的の歳出があるのですか？

A 福祉、教育など、13の目的の歳出があります。

議会費	0.8%
町議会の運営に必要な経費です。 6,527万1千円	

総務費	13.8%
役場の全体的な仕事や防災に係る経費です。 10億8,348万6千円	

民生費	23.7%
社会福祉や障がい者、高齢者、児童福祉などに必要な経費です。 18億6,486万6千円	

衛生費	14.5%
医療や健康づくり、環境保全、ごみ処理などに必要な経費です。 11億4,349万6千円	

労働費	0.0%
労働者の職業能力開発支援に必要な経費です。 68万5千円	

農林業費	5.5%
農林業の振興や普及に必要な経費です。 4億2,822万6千円	

商工費	2.6%
商工業の振興や育成、観光振興などに必要な経費です。 2億268万7千円	

土木費	12.6%
道路や河川、橋梁の維持や公営住宅の管理・整備に必要な経費です。 9億9,493万6千円	

教育費	5.4%
学校教育、社会教育などに必要な経費です。 4億2,601万5千円	

公債費	10.3%
借入したお金の返済に必要な経費です。 8億1,227万8千円	

給与費	10.5%
職員の給与、手当や福利厚生などに必要な経費です。 8億2,805万4千円	

災害復旧費	ー%
被災した公共施設の復旧に必要な経費です。 ー円	

予備費	0.3%
緊急の支出に充てるために必要な経費です。 2,000万円	

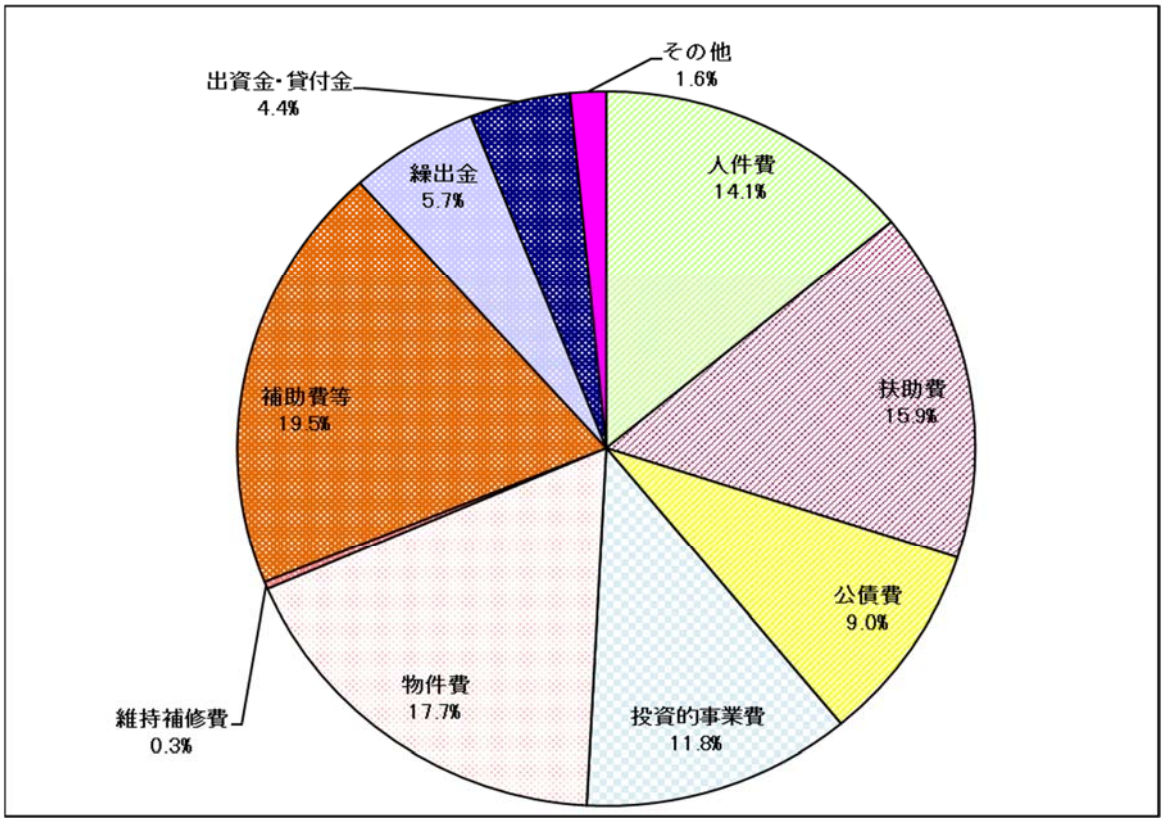
※計上のない欄についてはハイフン(ー)としています。

ポイント

・目的別や性質別など違う角度から見ることで、上富良野町の現在の状況や、どんな分野に力を注いでいるかなどを知ることができます。

Q　人件費はどのくらいの割合なのですか？

A　目的別の歳出を性質に分けると、人件費は14%を占めています。



【義務的経費】	30 億 7,150 万 5 千円	人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」といいます。これらの費用は支出が義務付けられた、任意に削減できない経費です。
人件費	11 億 591 万 9 千円	
扶助費	12 億 5,334 万 9 千円	
公債費	7 億 1,223 万 7 千円	
【投資的経費】	9 億 3,015 万 8 千円	道路や学校など公共施設の改築や改修、災害時の施設復旧などを行うための経費です。
普通建設事業費	9 億 3,015 万 8 千円	
災害復旧事業費	－円	
【その他経費】	38 億 6,833 万 7 千円	施設の維持管理のための維持補修費、光熱水費・消耗品費などを含む物件費などがあります。 繰出金は一般会計から特別会計へ支出するお金です。
物件費	13 億 9,109 万 2 千円	
維持補修費	2,595 万 4 千円	
補助費等	15 億 3,542 万 6 千円	
出資金・貸付金	3 億 4,685 万 3 千円	
繰出金	4 億 4,554 万 2 千円	
その他	1 億 2,347 万円	

上富良野町の支出（歳出）を月収 30 万円の家計簿に例えてみると…

支出の項目	金額（円）	
	令和 6 年度	令和 5 年度
食費 （人件費）	42,157	42,864
医療費 （扶助費）	47,777	47,993
家や車の修理費 （維持補修費）	989	994
学費・各種会議費 （補助費等）	58,530	49,153
家の増改築費 （投資的経費）	35,457	40,866
光熱水費 （物件費）	53,028	53,904
子どもへの仕送り （繰出金）	16,984	25,268
家の□ーンの返済 （公債費）	27,150	29,360
預金等 （出資・投資）	17,166	8,818
その他	762	780
計	300,000	300,000

=家計簿の特徴=

昨年と比べると、家の増改築(投資的経費)が完了したことにより、家の増改築費と子どもへの仕送り(繰出金)が減少しています。

学費・各種会議費(補助費等)と、今年は特に預金等(出資・投資)が大幅に増加しています。これは、町立病院建設と水道、下水に関する制度の変更が要因となっています。

継続する物価高騰と労務単価の上昇により食費(人件費)や、光熱水費(物件費)の増加が見込まれることから、支出の内容を見直し優先順位を整理し計画的に支出していく必要があります。

第6次上富良野町総合計画に掲げた「暮らし輝き　交流あふれる　四季彩のまち・かみふらの」を目指すべき将来像として、「協働のまちづくり」「穏やかに安心して暮らせるまちづくり」「人が行き交うまちづくり」の3つの視点を基本に、6つの分野と30の施策項目を推進します。

1 きれいで安全・安心な生活環境のまち

7億5,113万円

町民がずっと住みたくなる、町外の人々が移り住みたくなる、自然と共生する美しい生活環境づくり、すべての町民が安全に安心して住み続けられる、あらゆる危機に強いまちづくりを進めます。

1 環境・景観・エネルギー	1,119万円
2 ごみ処理等環境衛生	2億8,736万円
3 上・下水道	3億2,927万円
4 公園・緑地	6,242万円
5 消防・防災	5,050万円
6 交通安全・防犯	905万円
7 消費者対策	134万円

新拡充
一般廃棄物
最終処分場延命化検討等　1,130 万円

新拡充
島津公園整備
じゃぶじゃぶ池舗装整備
幼児用2連ブランコ設置　550 万円

2 みんなが元気になる健康・福祉のまち

25億8,092万円

一人ひとりが支え合いながら、健康で、安心して、元気に、自分らしく、いきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

1 保健・医療	5億9,842万円
2 子育て支援	7億5,724万円
3 高齢者支援	4億9,927万円
4 障がい者支援	4億9,146万円
5 地域福祉	1億1,687万円
6 国民健康保険・国民年金等	1億1,766万円

町立病院補助等　4億9,146 万円

拡充
子ども医療費給付費
（18歳まで）　4,729 万円

新拡充
子どもセンター整備
外構整備・東児童館解体工事　1億339 万円

③ 活力と交流あふれる産業のまち

6億9,724万円

特色ある農業を中心に、商工業など各産業間の連携を図りつつ、活力とにぎわい、魅力あふれるまちづくりを進めます。

1 農林業	4億3,805万円	3 観光・交流	1億1,924万円
2 商工業	1億3,927万円	4 雇用対策	68万円

防衛事業

演習場周辺
農業用施設設置助成　5,506 万円

拡充

地域おこし協力隊
- 地域振興推進員
- ジオパーク推進員
- 観光推進員
- 教育支援専門員
- 図書館支援専門員
- 特産農作物支援業務

6,724 万円

ラベンダーフェスタかみふらの等負担　800 万円

④ 未来を拓く人を育む教育・文化のまち

4億2,442万円

未来を拓く創造性豊かで心身ともにたくましい人材の育成を進めるとともに、生涯にわたって自ら学び、活動し、生きがいと感動に満ちた暮らしを送れるまちづくりを進めます。

1 学校教育	2億682万円	4 文化芸術	970万円
2 社会教育	8,627万円	その他	2,454万円
3 スポーツ	9,709万円		

新規

東中小学校整備
エアコン設置電気設備改修　700 万円

新規

公民館屋上防水改修　1,634 万円

新規

十勝岳ジオパーク
拠点施設改修(郷土館)
- 床改修
- 床地図作成
- 展示ケース修理

516 万円

5 発展を支える生活基盤が整ったまち

4億4,814万円

町全体の一体的、持続的な発展を支える、快適で安全・安心な生活基盤の整備を進めます。

1 土地利用	397万円
2 道路・公共交通	3億8,782万円
3 情報化	231万円
4 住環境整備	5,404万円

拡充

町道維持費	2億4,180 万円

拡充

予約型乗合タクシー運行（町内均一料金）	1,071 万円

6 ともに生き、ともにつくるまち

10億8,423万円

すべての人が尊重され、ともに支え合い、ともに生き、ともに活躍するまちづくりを進めます。

1 人権尊重・男女共同参画	―万円
2 コミュニティ	871万円
3 地域間交流	65万円
4 協働、自衛隊との共生	3億53万円
5 行財政運営	7億7,434万円

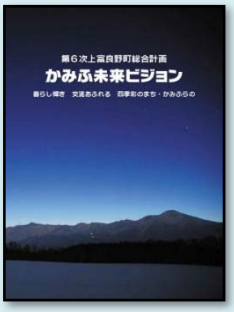
他 その他

18億8,392万円

6つの分野に該当しない行政経費等（給与費、起債償還など）

総合計画に基づき、各分野において取り組む主要な施策や数値目標を設定し、特に計画期間の後期５か年については、次の項目を重点的に進めます。

重点プロジェクト１　健康・福祉のまちづくりプロジェクト
重点プロジェクト２　かみふらの産業活性化プロジェクト
重点プロジェクト３　未来を拓く人材育成プロジェクト
重点プロジェクト４　地域防災力向上プロジェクト



令和6年度　当初予算説明資料

上富良野町の知っておきたいことしのしごと

発行年月　令和6年4月

編集・発行　上富良野町

住所・連絡先　北海道空知郡上富良野町大町2丁目2番11号

電話：0167-45-6980　FAX：0167-45-5362

E-mail：zaisei@town.kamifurano.lg.jp

ホームページ　https://www.town.kamifurano.hokkaido.jp